

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	しんどう なおふみ 進藤 直文	所属・職名	健康福祉学部 健康栄養学科・教授
専門領域	食品学・栄養学	学位称号	農学修士.1974(昭50)、 博士(学術).1995(平7)
最終学歴	1994(H6)佐賀大学大学院工学系研究科エネルギー物質科学専攻(博士課程)単位取得満期退学		
資格・免許等			
教育上の能力に関する事項			
担当科目	食品学、食品学実験、基礎栄養学、栄養学、基礎演習「あすなろう」、健康栄養学演習		
教育方法の実践例	<p>教育方法の実践例</p> <p>食品学 食品学の講義ではプロジェクターを利用して、理解しやすい講義を行っている。また、後で復習しやすいようにスライドの一部をプリントした資料も配布している。さらに、講義後に小テスト問題を配布し、次回の講義の初めに解説して理解を深めるような講義を行っている。</p> <p>食品学実験 実験では実験書を作成し配付。実験操作、レポートの書き方及びデータ処理について指導。分析試料として、コーンフレーク、粉ミルク、きな粉、ホットケーキミックスあるいはクラッカーなど身近な食品の水分、タンパク質、脂質、糖質、ビタミンあるいはミネラルの定量分析をさせ、実験項目毎にレポートを提出させ、食品学の講義で学んだことを確認させ、また分析データの意味することを十分に理解させた。</p>		
教材の開発	<p>基礎栄養学 講義ではプロジェクターを利用して、理解しやすい講義を行っている。また、後で復習しやすいようにスライドの一部をプリントした資料も配布している。食品学に含まれている栄養素などが体内でどのように消化・吸収・代謝されていくか、また、各栄養素の機能について講義を行なっている。さらに、講義後に小テスト問題を配布し、次回の講義の初めに解説して理解を深めるような講義を行っている。</p>		
教育改善活動等	<p>栄養学 栄養学(リハビリテーション学部)もプロジェクターを利用して、理解しやすい講義を行っている。また、後で復習しやすいようにスライドの一部をプリントした資料も配布している。</p> <p>基礎演習 新入学生に対し、大学でのノートの取り方、レポートの書き方の基礎を理解させることを目的とした。</p> <p>あすなろう ボランティア活動後にポートフォリオ上で提出されるレポートに対してメントをする等の指導を行っている。</p> <p>健康栄養学 国家試験対策として各1~2回をオムニバス方式で過去問等の解説講義を演習I,II,III 行っている。</p>		
職務上の実績に関する事項			
研究業績等に関する事項			
《 平成19年度～平成23年度 》			
著書・学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
【学術論文】			
1. タマネギ外皮抽出物中の抗酸化物質の精製及び構造について	共 著	西九州大学健康福祉学部 紀要、No.38	平 20.3
2. タマネギ外皮抽出物の各種グルコシダーゼ活性に及ぼす影響	共 著	西九州大学健康福祉学部 紀要、No.39	平 21.3
3. アンジオテンシン変換酵素活性に及ぼす野菜抽出液の影響	共 著	西九州大学健康福祉学部 紀要、No.41	平 23.3

【学会発表】 1. アンジオテンシン変換酵素活性に及ぼす野菜エキスの影響		日本農芸化学会関西・中四国・西日本支部合同大会	平 21.10
研究助成等	私立大学等経常経費補助金特別補助(特色ある教育研究の推進) 2007 私立大学等経常経費補助金特別補助(特色ある教育研究の推進) 2008		
学会及び社会における活動等			
日本農芸化学会(西日本支部評議員 2007～2011), 日本栄養・食糧学会(九州・沖縄支部評議員 2007～2011), 日本食品科学工学会, 日本分析化学会			